

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 仮事務所
- ◆ 出席委員：新野・川口・久我・佐藤・高橋・武本・前田・渡辺委員 …8名
- ◆ オブザーバー：保安院／今井所長 大嶋副所長 エネ庁／七部所長 東電／森 GM
- ◆ 事務局：柏崎市／阿部主査 広報センター／押見事務局長 石黒主事

次回定例会内容について

○ 1月定例会内容について

〈会長〉原子力安全委員会から説明してもらう項目としては、設立の目的や役割などのあらましと、地域の会が行ってきた提言・意見に係わる範囲の話での方向性など。またそれらについて意見交換してはどうか。地震に関連した説明は技術的、専門的な話になるし、その内容を説明する場はほかでもある。

〈委員〉安全委員会自体がどういうものか説明してほしい。いきなり地震のことを説明されても同じことをやっていると思ってしまう。

〈委員〉ダブルチェック機関というが、確認して問題ないとしたのに想定外の事象が起こったことに対して内部ではどう対応したのか、前になぜ間違ったのか、その責任はどこにあるのか説明してもらいたい。

〈委員〉地域の会で、過去の責任について言っても埒があかない。むしろ、安全委員会がどこまでの安全を担保してくれるのか、また過去と比較した、改善点などを聞かせてほしい。

〈委員〉勉強会であるので、いわゆる第三者機関として果たしている役割を説明してもらいたい。役割を果たしているか否かについては質問や意見で出せばよいと思う。

〈委員〉地震後に変えてきたことも説明してほしい。

〈会長〉原子力安全委員会に対して、この原案のタイムスケジュール案でいってもいいだろうか。

(委員 よい)

〈会長〉では、行政体制やあらましに関しては保安院から説明していただきたい。保安院が何をやっているのかについても説明していただきたい。

安全委員会から説明してもらいたい項目は、目的、位置づけ、設立経緯、主な活動内容を冒頭10分程度。

中越沖地震後、どう見直され、どう変化したのか。地元住民は、申し訳ないが原子力安全委員会のことをほとんど理解していないので、そのレベルからご説明をいただきたい。

また、地震後に新しく作られた委員会があるので、その目的や活動のあらましもご説明いただきたいと思う。

〈委員〉委員の人選についての中立性についても入れてはどうか。あらましの中に入っているか。

〈委員〉もし入っていないければ質問すればよい。

〈委員〉今の項目以外のことについては質問すればよいのではないか。

〈会長〉過去に提出した意見書や要望書は地域の会の総意なので、その総意を汲み取っていただきたく原子力安全委員会へお渡した。委員のみなさんにも、総意の視点から発言していただき、思いを直接伝えていただければと思う。

私たちの安全を担うためにやっていただいているだろうから、その中で、もっとこうしてほしいという協議が重ねられ、議論が深まるのが地元住民にとってよいのではないか。

〈事務局〉新聞広告等はどうするか。出す際は広告時期もどうするか。記事掲載もしてもらうか。
〈委員〉したほうがよい。1週間前ころがよいのではないか。記事掲載もしてもらいたい。

【決定事項】

- ・ 保安院から、行政体制やあらましに関して説明をしてもらう。
- ・ 原子力安全委員会から、1. 目的、位置づけ、設立経緯、主な活動内容について 2. 地震後に設置された委員会の目的や活動のあらましについて 3. 中越沖地震後、どう見直され、どう変化したのかについて説明をもらう。
- ・ 柏崎日報へ新聞広告を入れる（1月7日予定）。記事も掲載予定（1月5日予定）。
- ・ テーマ「原子力の安全規制について」～中越沖地震を受けて～

○2月定例会内容について

〈会長〉情報共有会議となる。提案だが、いつもはオブザーバーからご発言いただき若干質問をして終わりだが、逆にして全委員が一言ずつ発言し、その意見を聞いていただくというのはどうだろうか。その際は長い時間の発言でなく、一人2分程度に要領よく発言していただきたい。

〈委員〉よいと思う。たまには委員も意見表明したほうがよい。

〈市〉そこでの発言に対し、その場で何らかの回答をするのは難しい。

〈委員〉それはいい。全委員が発言をしたあとで、感想や意見をもらってはどうか。

〈委員〉質問しようと思って一生懸命聞くが正直言ってわからない。自分がどう考えているかというのはみんなが言えると思う。

〈委員〉各委員の発言ごとに回答するキャッチボールではなく、全委員が一通り意見を述べ、その後にオブザーバーからそれら意見をふまえて感想などを言ってもらえばよい。

〈市〉形としては、委員各々が発言したことに個別に返すのではなく、全委員の意見を聞いた上で、今後どうしたいか意見、感想を述べるという形になるのではないか。

〈委員〉それでよい。

〈会長〉発言に際して、自分のスタンスが大体決まっているので、自分も含め、「だいたい自分のことをわかってくれるだろう」という前提で話してしまう面がある。すると、新しく出席したオブザーバーは、委員自身の立場が明確にわからないまま意見を聞くことになる。また事情、背景を知らないマスコミ関係者はそれを聞き、単語だけを捉えて記事にするということもあると思う。先日、新聞記事を読んでその点を反省した。

新年度からの発言スタイルはこの点を意識し、内容を重要視していただきたい。会の内容は会議録として広く公開されるため、「活字」になったときに、読者に真意が正しく伝わることも意識してご発言いただきたい。最初からいきなりは難しいこともあるだろうが、少しずつでも意識して発言をお願いしたい。

また、時間も要領よく使っていただき、発言のはじめには本来自分はどう思っているかを述べ、だけどこう思うという発言につなげていただきたい。

〈委員〉発言時間2分は、誰への質問ということではなく、自分の活動を通し、私はこう考えるというのを発言してはどうか。後半の残った時間で質問をしたらよいのではないか。

〈委員〉2分の発言時間の中で質問も含めて発言してもらわないと時間的に無理。

〈委員〉真意を伝えるために、時間内でまとめて伝えることも大切。

〈委員〉発言時間を厳守し、3分経ったら途中でも発言を終了させていただきたい。

〈委員〉 発言時間は2分程度とし、2分の時点でベル等で合図をし、3分経ったら発言途中でも終了させていただくことにしてはどうか。

〈会長〉 全委員発言後、オブザーバーから各5分程度、感想や意見をもらいたい。その後、時間が取ればフリーディスカッションをさせていただきたい。

また、委員の皆さんには、自分の思い込みで結論だけを発言するのではなく、「自分は基本的にこういう考え方をするけれど、それで、あえてこれとこれを聞きたい」というスタイルで発言をし、真意が伝わる努力をしていただきたい。時間も守っていただき、できるだけ多くの人に発言をしていただきたい。

〈事務局〉 関係部署へ出席要請の準備をすすめさせていただく。

【決定事項】

- ・ 2月定例会は情報共有会議とする。
- ・ 議事内容は、全委員が思いや意見を述べるのが主。その後、オブザーバーより意見、感想をいただく。時間がとればフリーディスカッションの時間を設ける。
- ・ 発言時間は一人2分程度。3分を経過した場合は途中でも終了させていただきたい。
- ・ 会議終了後、懇親会を行う。会場はおい。

○3月定例会内容について

➤ 現段階では未定。2月までの内容をみて協議する。

○臨時会開催について

〈会長〉 2月定例会まで特例の定例会としているので、その間、何か大きな動きが万が一あった場合は、運営委員と協議の上、会長判断にて、しかるべき時期に臨時会を設けさせていただいてもよいだろうか。

(委員 よい)

【決定事項】

- ・ 特例会が続くため、その間、必要の際は運営委員で協議の上、会長判断にて臨時会を開催する。

委員事前意向アンケート調査の結果について

〈事務局〉 松浜地区、高浜地区の2地区は各町内会が交代で委員を選出しているが、現時点では、推薦団体がローテーション通りでなく、現状の推薦団体が継続している状況がある。

〈会長〉 窓口である市役所から次期推薦する町内会へ調整をとっていただきたい。

〈市〉 上司との相談のうえ、回答したい。

〈会長〉 また、委員定数が1枠あいているが、商工会議所からの推薦枠であり次期も推薦依頼したい。アンケート集計は中間的なものであり、来月の協議事項とさせていただく。

【決定事項】

- ・ 商工会議所へは、次期も推薦依頼をする。

次回運営委員会日程について

➤ 1月16日(金) 18:30から 柏崎原子力広報センター1F仮事務所(アトミューらぼ)

視点第33号内容について

- 第65回定例会原稿は持ち帰り、修正等あれば後日広報センターへ連絡をする。

委員質問・意見について

○タービンQについて

- 次回定例会に文書にて回答してもらう。

○マスコミに対する意見について

- 次回定例会に意見として書面報告する。

その他

〈事務局〉 第32号視点の「みんなの広場」に対する意見・指摘が原子力関係者からあった。会としては、寄せられた原稿に対して、原則手は加えないこと、手を加える場合も本人の了解を得ることを説明した。

〈委員〉 原則に従って発行している。

〈委員〉 掲載された意見に対する、自分の意見を投書いただければありがたい。意見が活発になされることはよい。

- 発行に際しては、原則、寄せられた原稿には手を加えない。加える場合は本人に了解を得る。